

# 資料5

## 中国地方国際物流戦略チーム第九回部会

### 各港湾管理者の取り組み状況

○鳥取県	・・・	P 1
○境港管理組合	・・・	P 2
○島根県	・・・	P 3～4
○岡山県	・・・	P 5～6
○広島県	・・・	P 7～8
○呉市	・・・	P 9～10
○山口県	・・・	P 11

平成22年6月9日

# 日本海側の拠点性が高まる「境港」

鳥取県

## 境港から世界へ 成長する対岸貿易のネットワーク強化

### 日露知事会議で合意

(H22. 5. 2)

定期貨客船とシベリア鉄道  
を結ぶ物流ルート強化



### ロシア沿海地方との友好協定締結

(H22. 5. 5)

物流ネットワークの発展  
と地域間の貿易拡大



### 江原道・ロシア沿海地方との覚書締結

環日本海定期貨客船の利用促進

(H22. 5. 25)



### 境港にロシアが貿易拠点

定期貨客船を活用し貿易促進

早ければ  
H22. 6にも  
事務所開設



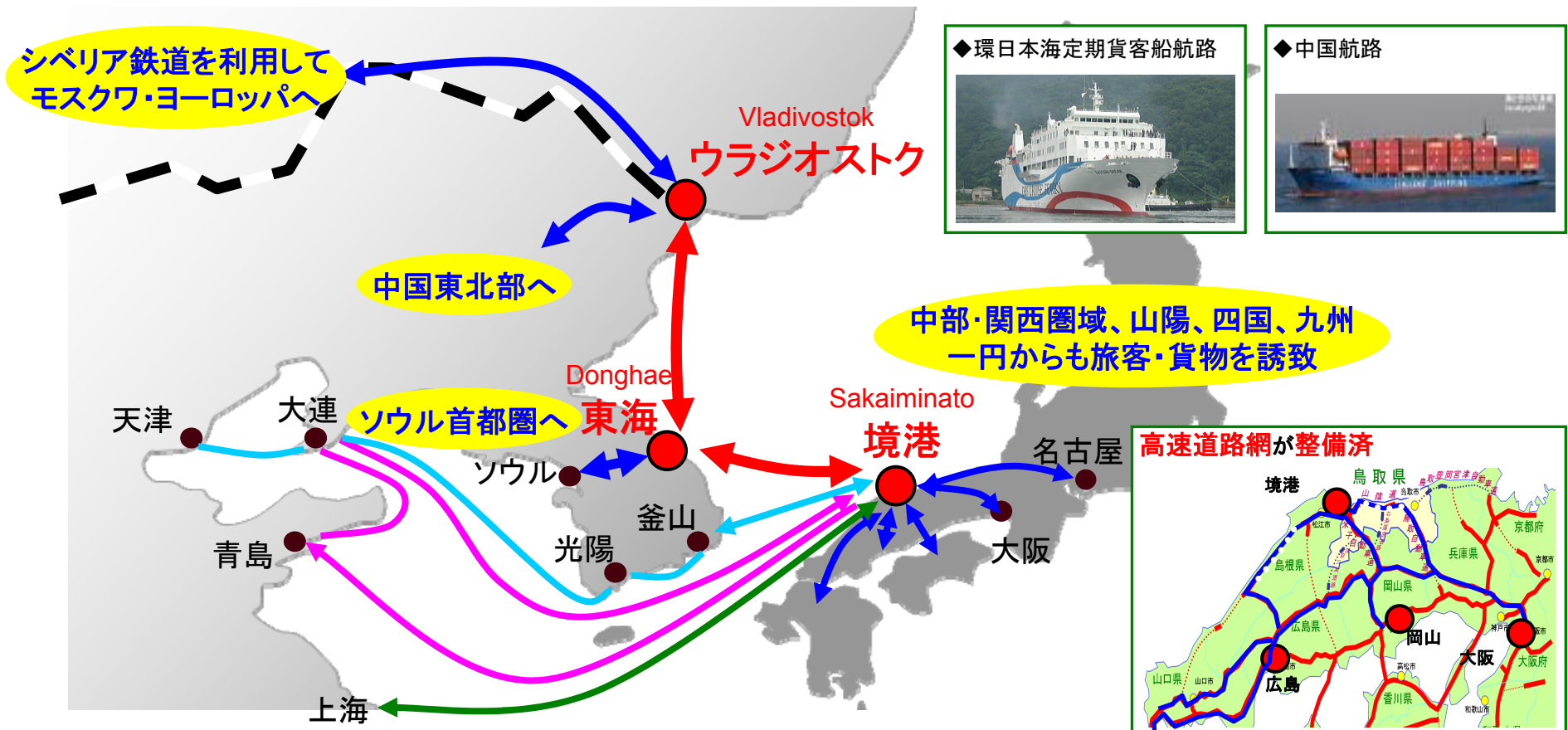
境港

# 重要港湾「境港」を日本海側拠点港、重点港湾に 選定することを強く要望します！！

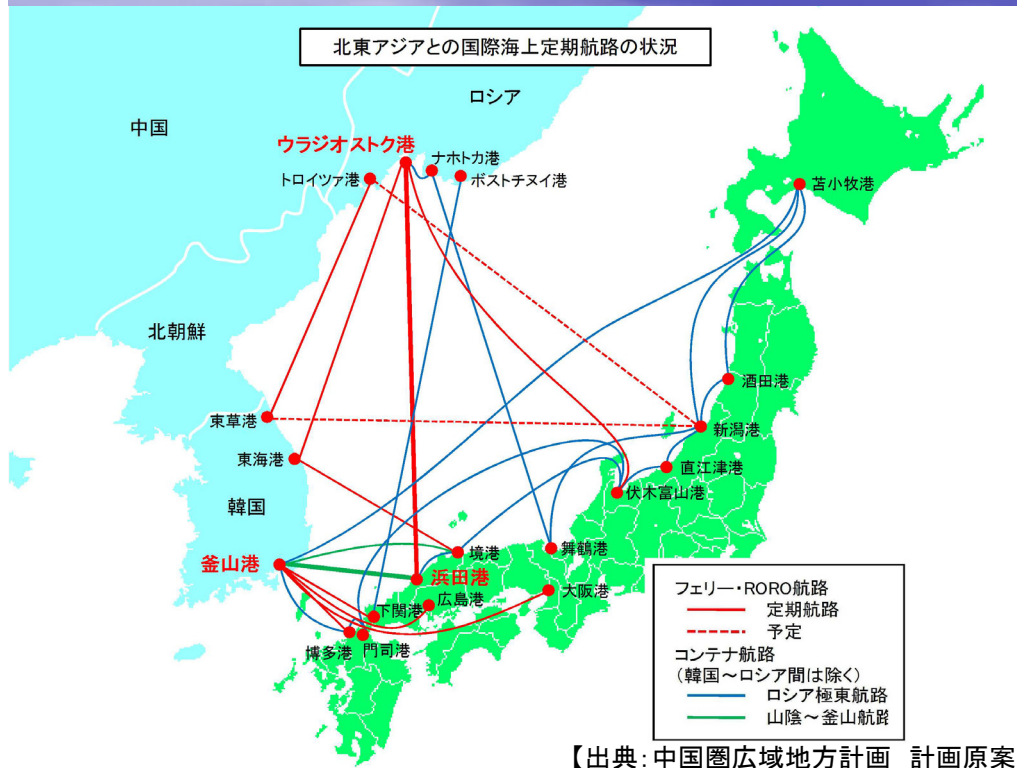
境港管理組合

## 「境港」は北東アジアゲートウェイの拠点港

「境港」は北東アジアに一番近く、北東アジアゲートウェイの  
拠点港として、人と物の流れが既に確立された港湾。

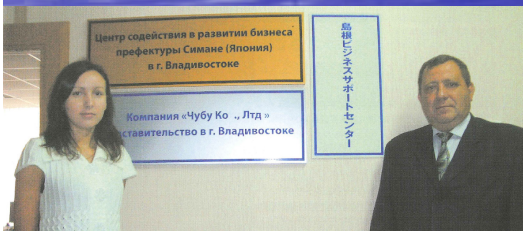


# 日本海側の国際物流拠点「浜田港」の取り組み



## 【浜田港の取り組み】

- ★釜山定期コンテナ航路の実績(平成13年から)
- ★ロシア航路の開設とロシア貿易の拡大強化
  - ロシア極東地域との貿易促進を図るため、官民による「ロシア貿易促進プロジェクト」が始動(平成19年2月)
  - ウラジオストク港とのRORO(ローロー)船航路開設(平成20年7月から)
  - ウラジオストク市内で島根県産品を売り込む「ウラジオストクSHIMANEフェア」を開催(平成20年7月)
  - ウラジオストクに「島根ビジネスサポートセンター」開設(平成21年9月)
  - ウラジオストクでの「日本建材フェア、食品トライアル販売」を広域地方計画先導事業により展開(平成21年11月から)
- ★クルーズ客船の寄港
  - 飛鳥II、外国客船「Spirit of Oceanus」、ウラジオストク海洋大学「ナジェジュダ」の寄港
- ★浜田港ポートセミナーIN広島
  - 広島において開催(平成22年2月)
  - 100名を超える山陽側企業・団体の参加
- ★台湾貿易石見実行委員会事業
  - 台湾・台北市内で浜田港周辺の石見地域産品商談会及び物産展開催(平成22年1月)
- ★リーチスタッカー(45t吊り)の導入(平成22年3月)



「島根ビジネスサポートセンター」開設(平成21年9月)



「SHIMANEフェア」の賑わい(平成20年7月)

## 日本海側の国際物流拠点「浜田港」の課題

○浜田市と山陽を結ぶ高速交通網は整備されているが、浜田港から浜田自動車道浜田ICに至る区間(臨港道路福井1号線、国道9号、国道9号バイパス)は、大型車の通行がしにくい箇所があり交通のネックになっているため、高速交通網へ円滑に直結するアクセス路の整備が喫緊の課題



【高速道路網へ直結するアクセス路(臨港道路 福井4号線)の整備により得られる効果】

- 山陽地区と高速道路で直結された港となり、中国地方から北東アジア地域へ向けた物流の拠点港として大きく寄与する。
- 輸送ネットワークの充実により、既存荷主へのサービス向上と新規荷主の獲得を生み、ひいては取扱貨物量の増加により浜田港の振興が図られ、島根県のみならず中国圏域の経済活性化に大きく寄与できる。

※臨港道路 福井4号線が接続する浜田三隅道路及び熱田インター線は、国土交通省及び島根県において整備中。

## 水島港の概要

- ・水島港は、岡山県中西部の高梁川河口に位置し、背後には鉄鋼、自動車、石油精製、石油化学、穀物などの多様な産業が立地する水島臨海工業地帯の玄関口であり、**中国・四国エリア1位の港湾取扱貨物量を誇る我が国有数の工業港**として、地域の経済、産業に大きな役割を果たしている。
- ・玉島地区の沖に造成を進めている玉島ハーバーアイランドは、公共埠頭の供用開始以降、水島港の新たな物流拠点としての役割を担っており、主に外・内貿コンテナと完成自動車を取り扱っている。



## 水島港の穀物・鉄鉱石の取扱い状況

- ・水島港は全国5位、中国・四国エリアでは1位\*1 (H20年)の取扱貨物量を誇り、我が国を代表する港湾。
- ・さらに、バルク貨物に限れば、全国3位\*2(H19年)の取扱貨物量を誇る。
- ・背後圏は関西・山陰・四国・中国西部方面と高速道路で結ばれ、交通のクロスポイント。
- ・水島臨海工業地帯を擁し、同地帯の製造品出荷額(H20年)は岡山県の51%\*3を占め、地域経済を支える重要な地域。
- ・国際バルク戦略港湾の対象品目である 穀物(トウモロコシ、大豆) の輸入量は全国3位\*2(H19年)。
- ・同じく、鉄鉱石 の輸入量は全国1位\*2(H19年)。
- ・バルク貨物取扱港湾としての基盤が整っている。

穀物(トウモロコシ、大豆)  
取扱いの状況

- ・瀬戸埠頭(株)、パシフィックグレンセンター(株)等、日本大手の複数の穀物取扱企業が立地し、サイロや荷役機械等も国内有数の規模を誇る。
- ・カナダやアメリカ、オーストラリア等から年間190万トン\*2 (H19年)を輸入。

## 鉄鉱石取扱いの状況

- ・世界に誇る鉄鋼メーカーのJFEスチール(株)西日本製鉄所が立地。
- ・オーストラリアやブラジル、インド等から年間1,680万トン\*2 (H19年)を輸入。

\*1 岡山県港湾課調べ

\*2 平成19年 港湾統計(年報)より(ただし、「大豆」は港湾統計品目の「豆類」)

\*3 岡山県工業統計調査より

# 広島港コンテナ港湾の拠点性向上について

広島県

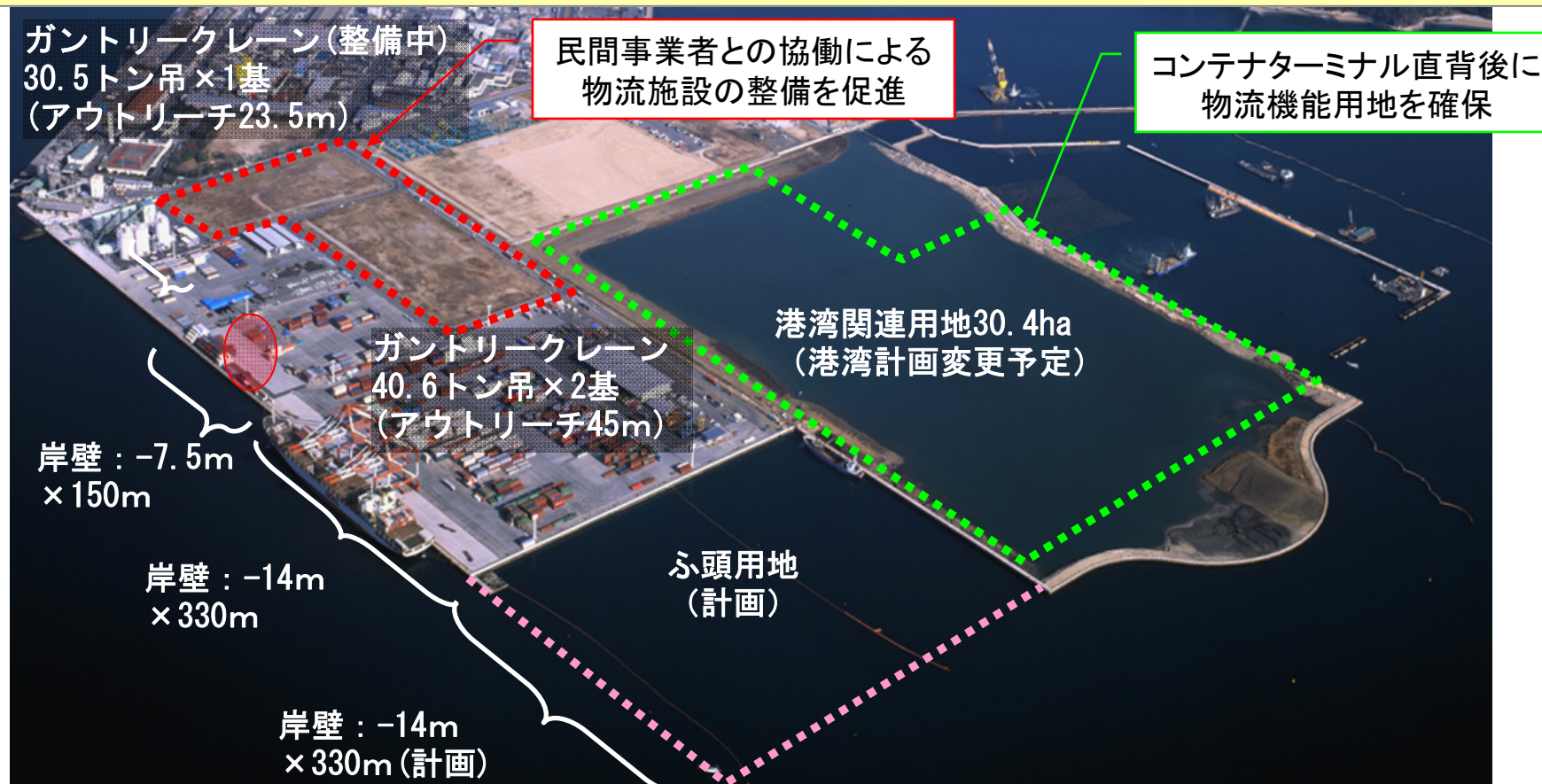
～中国四国地域における中国・東南アジア等, アジア地域との貿易の拠点～

## ①ソフト面の充実・強化

- ・港湾サービスの向上～荷役の効率化(共同化, 24時間化), 港湾使用料の低減
- ・新たな利用者の発掘～効果的な助成制度の検討

## ②ハード面の充実・強化

- ・背後圏域とのアクセスの向上～広島都市高速の開通により山陽自動車まで直結
- ・物流の効率化～水深14m岸壁と一体的に利用できる荷役機械の整備(内外貿コンテナターミナル)  
コンテナターミナルと一体的に機能する物流施設の立地促進, 用地の確保





# 福山港バルク港湾の拠点性向上について

広島県

## ～国家的基幹産業(製鉄所)の国際競争力の強化～

- ①大型船による一括大量輸送に対応した港湾
  - ・物流の効率化～瀬戸内海の地理的要因を踏まえ、20万DWT級の大型船舶が満載輸送できる港湾とする必要があり、その取り組みを企業と連携して検討
- ②戦略的な制度設計
  - ・適正な負担割合～企業の国際競争力強化の足枷とならない負担を軽減できる制度設計を要望



※出典:中国地方整備局、四国地方整備局資料

# 呉港の現状と課題について

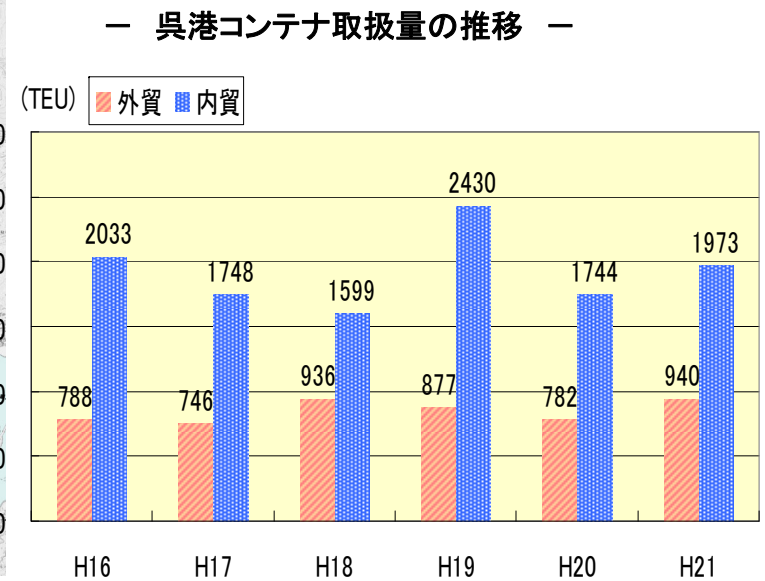
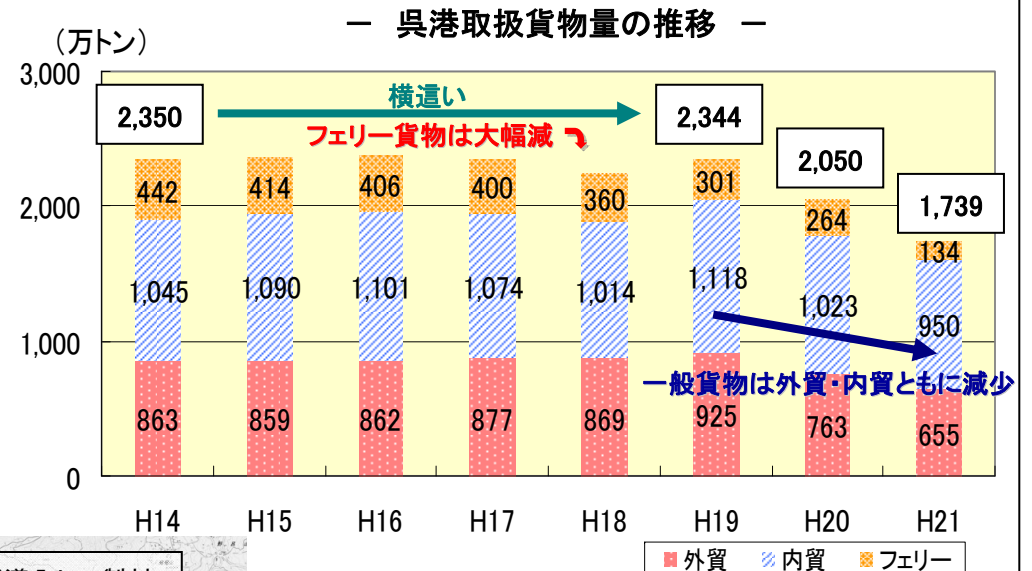
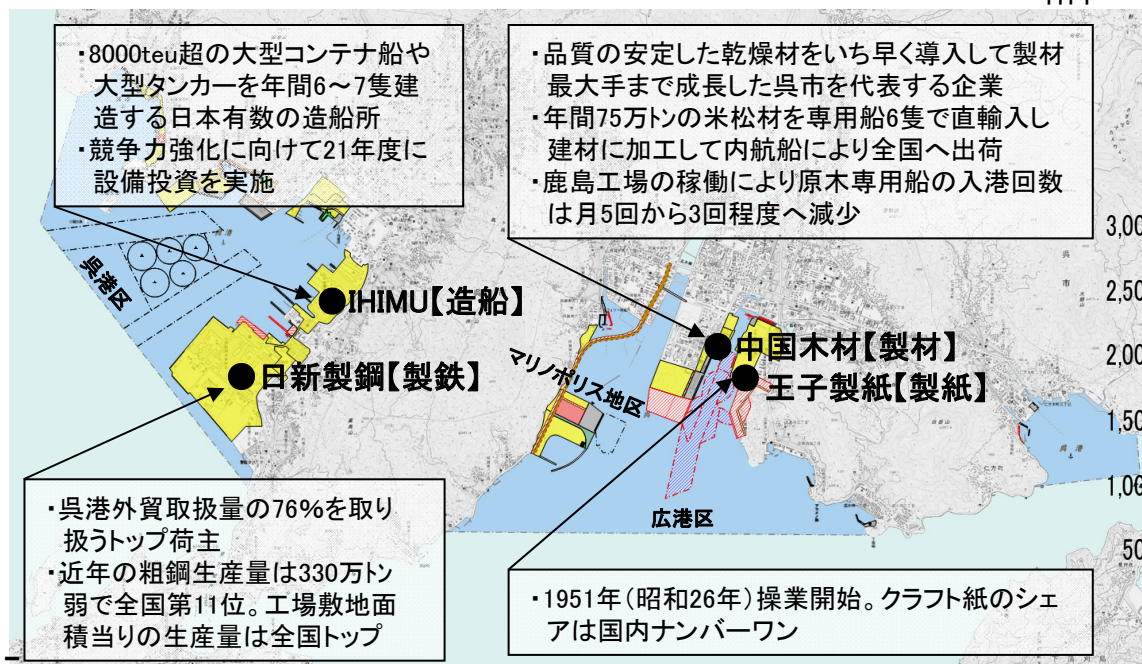
呉市

## ①呉港をめぐる諸情勢

### ◆ 貨物量の推移

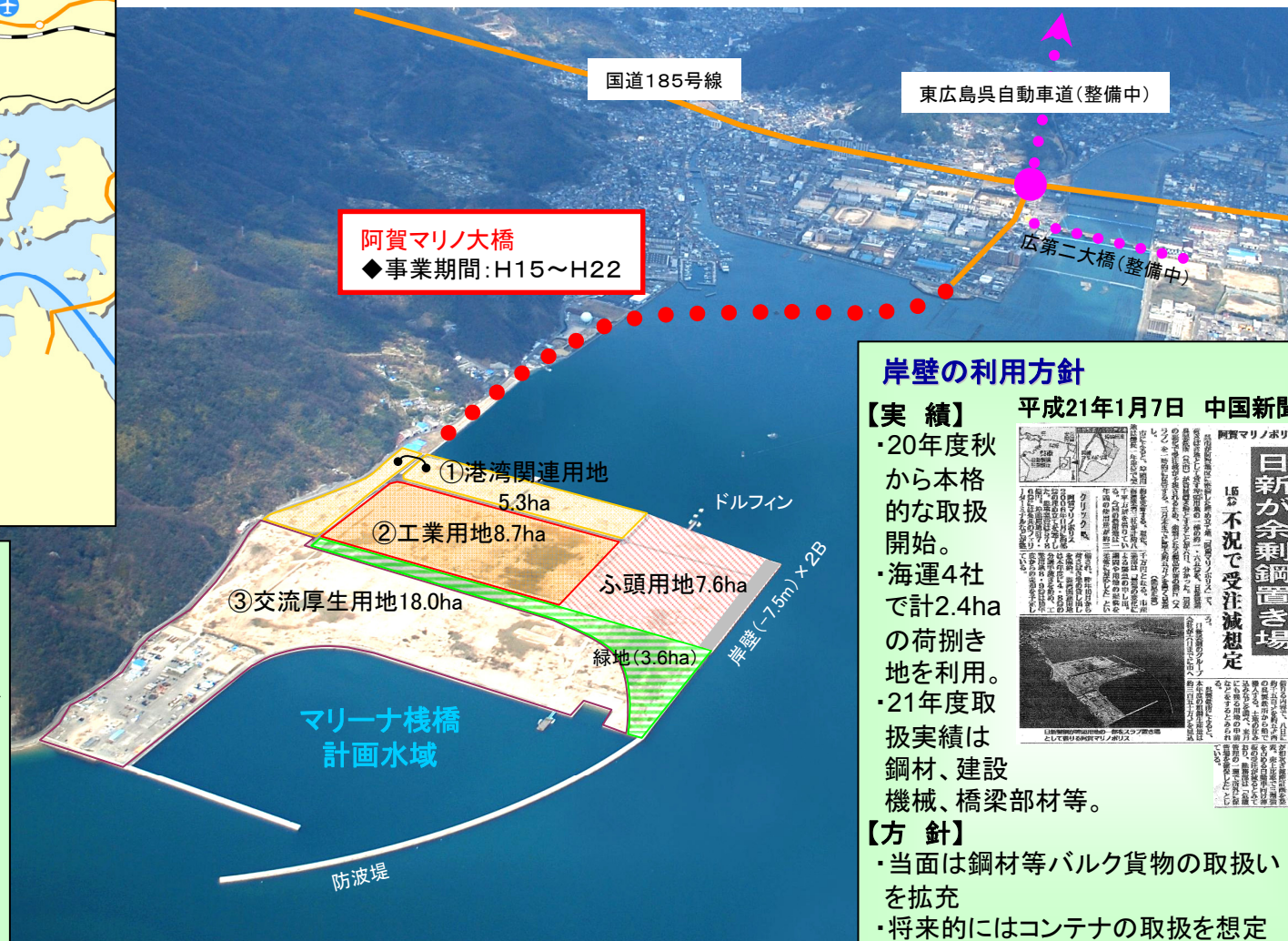
- ・ 取扱貨物量は近年 2,300 万トン前後で推移していたが、H20の急激な景気後退により減少傾向である。
- ・ フェリー貨物は島嶼部への航路の廃止・縮小、しまなみ海道の全通等の影響で10年前に比べ半減。ETC割引導入の影響で更に厳しい状況が予想される。
- ・ 一般貨物は景気拡大の中で増加傾向であったが、H20年の経済危機以降は企業の減産もあり、外貿・内貿共に減少傾向にある。

### ◆ 呉港を利用する企業(大手荷主)の動向



## ②阿賀マリノポリス

呉市の新たな生産・物流・交流拠点として平成5年から46haの埋立整備を行っている。



**分譲見通し(32ha)**

①港湾関連用地(5.3ha)  
平成21年1月から分譲開始。当初は数社からの応募が見込まれたが、経済危機の影響で進出は1件(6,600㎡)に止まる。

②工業用地(8.7ha)  
現在、分譲開始予定は平成20年からの急激な景気後退により、見合わせており、社会情勢を見ながら分譲開始する予定。

**岸壁の利用方針**

**【実績】** 平成21年1月7日 中国新聞

阿賀マリノポリス  
15年不況で受注減想定  
日新が余剰鋼置き場

20年度秋から本格的な取扱開始。  
海運4社で計2.4haの荷捌き地を利用。  
21年度取扱実績は鋼材、建設機械、橋梁部材等。

**【方針】**

- 当面は鋼材等バルク貨物の取扱いを拡充
- 将来的にはコンテナの取扱を想定

# ～国際バルク戦略港湾における山口県の取り組み状況～ 山口県

公募の選定基準等の精査が未完了であること、及び以下の「課題」があることから、現時点において、応募については未定である。



## 石炭取扱量 全国順位

	取扱量	移出
徳山下松	4位	2位
宇部	5位	1位

※出典：H19港湾統計

## 優位性

### ■地理的優位性

- 外海から容易な大型船進入経路
- 島々に囲まれた天然の良港
- 九州北部・瀬戸内海工業地域の大量消費地に近接

### ■石炭の取扱実績

- 石炭取扱量： 徳山下松港 930万トン
- 石炭取扱量： 宇部港 920万トン

### ■物流改革への先導的な取り組み

- 公共埠頭の長期一体貸付制度： 全国初の適用

## 課題

### ■県内企業等の調整が必要であること

- 大口ユーザーの連携・参画が必要
- 特定の企業だけでなく、各社にメリットが必要

### ■事業実施面での課題があること

- 候補地の比較・選定
- 短期間での整備が求められる

### ■制度設計が示されないこと

- 国家プロジェクトとして民間活力も導入し、地方の負担のない事業スキームの構築  
→ 政府要望で、公募前の制度設計を要望
- 連携港湾への国の支援